

# 株式会社 よみうりランド

証券コード9671

## Contents

- 株主の皆様へ／01 ●営業の概況／01・02
- 事業の種類別セグメントの概況／03・04・05・06
- 財務諸表〔個別〕／07・08 ●財務諸表〔連結〕／09・10
- 業績ハイライト／11・12 ●トピックス／13
- 株式の状況／14 ●会社の概況／14 ●株主メモ

第 81 期

事業報告書

H16・04・01 ▶ H17・03・31



よみうりランドキャラクター  
ランドドッグ

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループ第81期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の事業の概況を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

平成17年6月

代表取締役社長

小谷直道



## 営業の概況

01

### 営業の経過及び成果

当連結会計年度における我が国経済は、企業収益の改善、輸出や設備投資の増加などを背景に緩やかな回復を迎えておりましたが、下期に入り原油価格の高騰などから減速傾向が現れたことや根強いデフレ傾向により先行きの不透明感を払拭できない状況で推移しました。

当社グループの関連する業界におきましても、個人消費は依然として力強さを欠く中、低価格競争も激しさを増すとともに、下期には台風や積雪の悪天候に見舞われたこと、また余暇の多様化など構造的な変化もあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況の下、当社グループは、顧客サービスの向上を図るため、ジャイアンツ球場のバックネット裏スタンド増設、よみうりゴルフ倶楽部の5人乗り乗用カート導入、プールWA Iにおける入場口、更衣室、ロッカー棟改装など施設の整備に努めました。また、新たにコンビニエンスストアを2店舗オープンし、船橋競馬場では駐車場を整備し有料化したほか、3月に当社敷地内で開所された特別養護老人ホーム「よみうりランド花ハウス」には土地を賃貸し、売上の向上に全力を注ぎました。

この結果、当連結会計年度における売上高は、猛暑によるプールWA Iの好調、温浴施設「よみうりランド丘の湯」が年間を通じて予想を上回る収入を上げたこと、コンビニエンスストア3店舗の稼働などにより134億7千9百万円（前期比7.8%増）となり、経常利益は、11億5千6百万円（前期比53.9%増）となりまし

た。しかしながら、当連結会計年度に速やかな財務体質の健全化を図るため「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用し、千葉よみうりカントリークラブ等の固定資産を減損処理したこと、及び宿泊施設ランド会館の営業終了（8月末）に伴う除却損計上等の結果、41億7千6百万円の当期純損失（前連結会計年度は3億8千万円の当期純利益）となりました。

### 対処すべき課題

今後の我が国経済は、設備投資と企業収益に支えられ、緩やかながら回復基調を続けていくものと予想されますが、原油高と米国経済の減速懸念や日中問題の動向が不安視されることなどのリスク要因もあり、また、個人消費についても雇用改善に伴い回復が期待されつつも、年金問題など将来に対する不安が消費意欲を抑制する恐れもあり、依然予断を許さない状況が続くものと予想されます。

当社グループの関連する業界におきましても、消費動向が多様化する中で、業態間競争はますます激化し、依然として低価格競争が繰り広げられるとともに、地方競馬などの公営競技界では、廃止を余儀なくされた施設や今後の存廃問題を抱える施設が相次ぐなど、事業環境は引き続き厳しくなるものと思われま

このような状況の下、当社グループは、所有地の有効活用として、老人保健施設「よみうりランドケアセンター」に続いて、3月に開所された特別養護老人ホーム「よみうりランド花ハウス」、4月に開院された療養を目的とした老人介護専門病院「よみうりランド慶友病院」への土地の賃貸を開始しました。これらの施設は当社グループの収益に寄与するだけでなく地域社会にも貢献します。既存事業におきましても、競馬場、オートレース場については開催中に限らず、非開催日も土地や施設を有効に活用し、遊園地、ゴルフ場については、安易に低価格競争に巻き込まれることなく、企画力、商品力、料金に見合ったサービスを提供することで集客を図り売上の向上に努めるとともに、ローコスト構造を維持し、さらなる収支改善に全力を注いでまいります。新規事業としては、直営のよみうりランド丘の湯とコンビニエンスストアをオープンし、これらは売上の増進に寄与しましたが、今後も創意と工夫をモットーに新規事業の芽を探し出し、採算性や将来性などを総合的に判断し、積極的に取り組んでまいります。

また、当面の課題として投資効率を重視した設備投資と財務体質の健全性の確保、役割・成果重視による事業運営、グループ経営の効率化及び新規事業の積極開発と人材活用を推進し、企業価値の向上を図りこの難局を打開し精励する所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 事業の種類別セグメントの概況 (セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます)

### 総合レジャー事業

**賃貸部門** 川崎競馬は前期比1日減の67日、船橋競馬は前期比1日減の54日開催されました。

川崎競馬は1号スタンドトイレの改修や夏場にビールフェアを実施しました。船橋競馬は駐車場有料化に伴う整備や新レストラン「オッズオン」の開店などサービスの向上に努めたほか、正月開催も行われました。しかしながら、開催日数や一人当たりの購買金額の減少により、本場の入場者、投票券売上高は両場ともに減少しました。

なお、川崎競馬場における他場開催時（船橋・浦和・大井各競馬場）の場外発売は、前期比1日増の202日、同じく船橋競馬場での場外発売は前期比2日減の203日、それぞれ実施されたほか、広域場外発売も積極的に実施されました。

船橋オートレースは、積雪による中止1日を含め、前期比4日減の103日開催されました。海側スタンド1階を改修し、展示ルームを新設するなどファンサービスを行いました。4月に導入された三連勝車券の発売や10月に開催された「SG日本選手権」などビッグレースの効果も期待されましたが、開催日数の減少が響き、本場の入場者、投票券売上高は減少しました。

なお、船橋オートレース場での他場開催時の場外発売は前期比3日減の80日開催されました。この結果、賃貸部門の収入は、32億7千万円（前期比4.8%減）となりました。



▲ドバイワールドカップ（UAE）に参戦した船橋競馬所属のアジュディミツオー



▲SG日本選手権スタート前

**ゴルフ部門** 東京よみうりカントリークラブは、フェアウェイやバンカーの整備などを行いコースの良化維持に努め、平日の特別優待券及びコンペ数増加などにより集客を図りました。下期の台風や積雪による度重なるクローズが影響して入場者は減少したものの、新規会員を募集したことによる入会登録料の収入が加わったためゴルフ収入は増加しました。

よみうりゴルフ倶楽部は、7月より5人乗り乗用カートを導入し、夏の閑散期の集客に大きく寄与しました。また、平日対策として、自主コンペや女性向けコンペを積極的に実施したことなどの結果、悪天候の影響があったものの、入場者、ゴルフ収入ともに増加しました。

静岡よみうりカントリークラブは、開場20周年へ向けて、施設のリニューアルや宣伝活動を実施し集客に努めた結果、入場者は前年並を確保しました。しかし、近隣コースとの入場者獲得競争のため利用料金を下げたことにより、ゴルフ収入は減少しました。

千葉よみうりカントリークラブは、平日対策として引き続きシニア・女性層を対象にした登録カードの発行や、下期には競争力確保のため利用料金の見直しを実施し集客に努めましたが、悪天候による集客不調に加え、台風、積雪によるクローズが影響し、入場者、ゴルフ収入ともに減少しました。

この結果、ゴルフ部門の収入は、31億9千3百万円（前期比0.1%増）となりました。



▲よみうりゴルフ倶楽部に導入された乗用カート

## 遊園地部門

遊園地は、開園40周年記念キャンペーンとして展開した料金政策や、夏期イベントの「スプラッシュバンデット」、お化け屋敷「三つの呪いⅡ」を実施し、集客に大きく貢献しましたが、キャラクターショーの開催日数減少に伴うファミリー層の集客力低下、ゴールデンウィークの悪天候、野外音楽堂「イースト」でのイベント開催数の減少が影響し、入園者は減少しました。

夏のプールWAIは、営業期間中の猛暑に加え、入場口、更衣室、ロッカー棟の改修等を実施して顧客満足度の向上に努めたことなどが功を奏し、入場者は大幅に増加しました。

ジャイアンツ球場におけるイースタンリーグ公式戦では、バックネット裏スタンドの増設などファンサービスに努めた結果、入場者は増加しました。

ゴルフガーデン（練習場）は、目標グリーンの設置や土曜日、平日終日打ち放題の実施、コンペの開催などにより、入場者は増加しました。

宿泊施設のランド会館は、施設の老朽化が進んだため、8月31日をもって営業を終了いたしました。

昨年3月オープンの温浴施設「よみうりランド丘の湯」は、入場者数が予想を大幅に上回りました。ロケーションを活かした施設づくりと癒しの要素が顧客ニーズにマッチするとともに、メディアに取り上げられたことなどにより広範囲からの来場者を獲得しました。

この結果、遊園地部門の収入は、プールWAIの盛況や、よみうりランド丘の湯が好調だったことなどにより、23億円（前期比25.2%増）となりました。



▲プールWAI

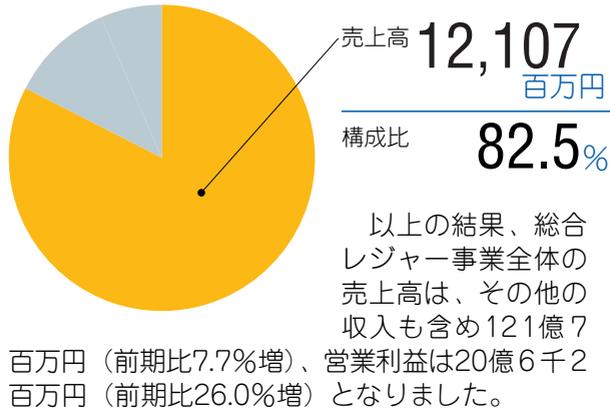


▲よみうりランド丘の湯

## 販売部門

食堂・売店の売上は、ランド会館の営業終了などのマイナス要因もありましたが、コンビニエンスストア2店舗の新規オープン、よみうりランド丘の湯やプールWAIの好調などにより、販売部門の収入は28億5百万円（前期比29.4%増）となりました。

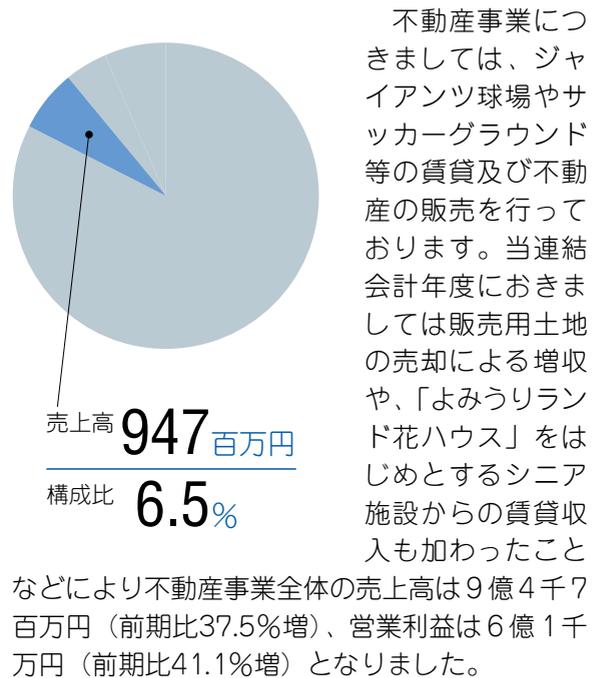
## 総合レジャー事業



## 建設事業



## 不動産事業



▲よみうりランド花ハウス

# 財務諸表〔個別〕

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期末 平成17年3月31日現在	前期末 平成16年3月31日現在	比較増減
<b>(資産の部)</b>			
<b>流 動 資 産</b>	<b>9,533</b>	<b>10,300</b>	<b>△ 767</b>
現金及び預金	7,204	5,486	1,718
営業未収金	902	2,030	△ 1,128
商 売 用 品	17	8	8
販 売 用 土 地	1,138	1,260	△ 121
貯 蔵 品	5	5	△ 0
前 払 費 用	9	11	△ 2
繰 延 税 金 資 産	90	62	28
短 期 貸 付 金	1	1	△ 0
未 収 入 金	150	134	15
立 替 金	—	1,268	△ 1,268
そ の 他	14	31	△ 17
貸 倒 引 当 金	△ 0	△ 0	△ 0
<b>固 定 資 産</b>	<b>51,552</b>	<b>57,123</b>	<b>△ 5,571</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>38,927</b>	<b>44,611</b>	<b>△ 5,684</b>
建 物	8,990	9,410	△ 419
構 築 物	9,297	9,614	△ 316
機 械 及 び 装 置	716	803	△ 87
車 両 及 び 運 搬 具	65	52	13
工 具、器 具 及 び 備 品	341	342	△ 1
土 地	19,516	24,003	△ 4,486
建 設 仮 勘 定	—	386	△ 386
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>68</b>	<b>70</b>	<b>△ 2</b>
施 設 利 用 権	64	65	△ 1
そ の 他	3	5	△ 1
<b>投 資 そ の 他 の 資 産</b>	<b>12,556</b>	<b>12,441</b>	<b>115</b>
投 資 有 価 証 券	11,717	11,499	218
子 会 社 株 式	126	126	—
長 期 前 払 費 用	4	42	△ 37
退 職 給 与 特 定 引 当 資 産	233	289	△ 55
そ の 他	475	484	△ 9
<b>資 産 合 計</b>	<b>61,086</b>	<b>67,424</b>	<b>△ 6,338</b>

科 目	当期末 平成17年3月31日現在	前期末 平成16年3月31日現在	比較増減
<b>(負債の部)</b>			
<b>流 動 負 債</b>	<b>9,296</b>	<b>8,810</b>	<b>486</b>
営 業 未 払 金	174	180	△ 6
短 期 借 入 金	3,730	5,403	△ 1,673
1年以内返済の長期借入金	1,986	2,184	△ 197
未 払 金	2,481	434	2,046
未 払 費 用	643	318	324
未 払 法 人 税 等	67	28	38
預 り 金	107	133	△ 26
賞 与 引 当 金	67	80	△ 13
そ の 他	40	46	△ 6
<b>固 定 負 債</b>	<b>32,712</b>	<b>34,013</b>	<b>△ 1,300</b>
長 期 借 入 金	5,326	7,312	△ 1,986
繰 延 税 金 負 債	2,269	2,445	△ 176
退 職 給 付 引 当 金	651	758	△ 106
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	122	101	20
長 期 預 り 金	24,343	23,364	978
そ の 他	—	30	△ 30
<b>負 債 合 計</b>	<b>42,009</b>	<b>42,823</b>	<b>△ 814</b>
<b>(資本の部)</b>			
<b>資 本 金</b>	<b>6,053</b>	<b>6,053</b>	<b>—</b>
<b>資 本 剰 余 金</b>	<b>4,730</b>	<b>4,730</b>	<b>0</b>
資 本 準 備 金	4,730	4,730	—
そ の 他 資 本 剰 余 金	0	0	0
自 己 株 式 処 分 差 益	0	0	0
<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>5,915</b>	<b>11,010</b>	<b>△ 5,094</b>
利 益 準 備 金	1,513	1,513	—
任 意 積 立 金	7,720	7,724	△ 3
配 当 平 均 積 立 金	520	520	—
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	1,030	1,034	△ 3
別 途 積 立 金	6,170	6,170	—
当 期 未 処 分 利 益 又 は 未 処 理 損 失 (△)	△ 3,318	1,772	△ 5,091
<b>株 式 等 評 価 差 額 金</b>	<b>2,944</b>	<b>3,359</b>	<b>△ 415</b>
自 己 株 式	△ 567	△ 553	△ 13
<b>資 本 合 計</b>	<b>19,076</b>	<b>24,600</b>	<b>△ 5,523</b>
<b>負 債 及 び 資 本 合 計</b>	<b>61,086</b>	<b>67,424</b>	<b>△ 6,338</b>

# Non-Consolidated Financial Statements

## 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	前期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	比較増減
<b>(経常損益の部)</b>			
営業損益の部			
営業収益	12,795	11,633	1,161
売上高	12,795	11,633	1,161
営業費用	11,717	10,889	827
売上原価	10,258	9,606	652
一般管理費	1,458	1,283	174
営業利益	1,078	744	333
営業外損益の部			
営業外収益	173	165	7
受取利息	10	11	△ 1
受取配当金	76	76	△ 0
事業保険差益	24	—	24
その他の収益	62	77	△ 15
営業外費用	219	221	△ 1
支払利息	213	221	△ 7
その他の費用	6	0	6
経常利益	1,031	688	343
<b>(特別損益の部)</b>			
特別利益	108	133	△ 25
投資有価証券売却益	20	127	△ 106
固定資産売却益	18	4	13
工事負担金	70	—	70
貸倒引当金戻入額	—	1	△ 1
特別損失	5,905	230	5,675
固定資産除却損	955	218	736
固定資産売却損	1	—	1
投資有価証券売却損	21	6	15
投資有価証券評価損	1	—	1
災害損失	91	5	85
減損損失	4,835	—	4,835
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	△4,765	591	△5,357
法人税、住民税及び事業税	20	35	△ 15
法人税等調整額	80	217	△ 136
当期純利益又は 当期純損失(△)	△4,866	339	△5,205
前期繰越利益	1,547	1,637	△ 90
中間配当額	—	204	△ 204
当期末処分利益又は 当期末処理損失(△)	△3,318	1,772	△5,091

## 利益処分

(単位：円)

科 目	当期 平成17年6月24日決議	前期 平成16年6月25日決議
当期末処分利益	—	1,772,606,971
任意積立金取崩額	—	—
固定資産圧縮積立金取崩額	—	3,477,000
計	—	1,776,083,971
当期末処理損失	3,318,440,914	—
これを次のとおり処理します。		
任意積立金取崩額	—	—
配当平均積立金取崩額	520,000,000	—
別途積立金取崩額	4,500,000,000	—
計	5,020,000,000	—
合計	1,701,559,086	—
これを次のとおり処分します。		
利益配当金	204,259,278	204,344,670
(1株につき)	(2円50銭)	(2円50銭)
役員賞与金	—	24,000,000
(うち監査役員賞与金)	(—)	(2,000,000)
次期繰越利益	1,497,299,808	1,547,739,301

# 財務諸表〔連結〕

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 平成17年3月31日現在	前連結会計年度末 平成16年3月31日現在	比較増減
<b>(資産の部)</b>			
<b>流 動 資 産</b>	<b>9,401</b>	<b>10,153</b>	<b>△ 751</b>
現金及び預金	7,533	5,915	1,617
受取手形及び営業未収金	1,009	2,176	△ 1,167
たな卸資産	629	589	40
繰延税金資産	130	106	23
その他	100	1,366	△ 1,265
貸倒引当金	△ 0	△ 0	0
<b>固 定 資 産</b>	<b>49,345</b>	<b>54,296</b>	<b>△ 4,950</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>36,249</b>	<b>41,078</b>	<b>△ 4,829</b>
建物及び構築物	18,167	18,871	△ 703
機械装置及び運搬具	816	891	△ 75
工具、器具及び備品	369	366	2
●土地	16,896	20,561	△ 3,665
建設仮勘定	—	386	△ 386
<b>無形固定資産</b>	<b>71</b>	<b>73</b>	<b>△ 1</b>
その他の無形固定資産	71	73	△ 1
<b>投資その他の資産</b>	<b>13,025</b>	<b>13,144</b>	<b>△ 119</b>
投資有価証券	11,731	11,512	218
繰延税金資産	562	797	△ 234
その他	731	834	△ 103
<b>資 産 合 計</b>	<b>58,747</b>	<b>64,450</b>	<b>△ 5,702</b>

**POINT解説**●主な減少要因は、減損会計の早期適用によるものであり、内訳は下記のとおりです。

千葉よみうりカントリークラブ 2,707百万円  
遊休地 950百万円

科 目	当連結会計年度末 平成17年3月31日現在	前連結会計年度末 平成16年3月31日現在	比較増減
<b>(負債の部)</b>			
<b>流 動 負 債</b>	<b>9,368</b>	<b>8,954</b>	<b>414</b>
営業未払金	347	384	△ 36
短期借入金	3,730	5,403	△ 1,673
1年以内返済の長期借入金	1,986	2,184	△ 197
未払法人税等	73	28	44
賞与引当金	85	102	△ 16
●その他	3,146	852	2,294
<b>固 定 負 債</b>	<b>32,840</b>	<b>34,123</b>	<b>△ 1,282</b>
長期借入金	5,326	7,312	△ 1,986
繰延税金負債	2,271	2,447	△ 175
退職給付引当金	755	858	△ 102
役員退職慰労引当金	122	101	20
長期預り金	24,351	23,372	978
その他	13	30	△ 17
<b>負 債 合 計</b>	<b>42,209</b>	<b>43,077</b>	<b>△ 868</b>
<b>(少数株主持分)</b>			
少数株主持分	—	—	—
<b>(資本の部)</b>			
<b>資 本 金</b>	<b>6,053</b>	<b>6,053</b>	<b>—</b>
資本剰余金	4,730	4,730	0
●利益剰余金	3,374	7,779	△ 4,404
株式等評価差額金	2,947	3,362	△ 415
自己株式	△ 567	△ 553	△ 13
<b>資 本 合 計</b>	<b>16,538</b>	<b>21,372</b>	<b>△ 4,833</b>
負債、少数株主持分及び資本合計	58,747	64,450	△ 5,702

**POINT解説**●主な増加要因は、「よみうりランド慶友病院」の工事代金等の未払金の計上であります。

**POINT解説**●主な減少要因は、減損損失（4,019百万円）の計上に伴う当期純損失（4,176百万円）であります。

# Consolidated Financial Statements

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	比較増減
<b>(経常損益の部)</b>			
営業損益の部			
営業収益	13,479	12,504	975
売上高	13,479	12,504	975
営業費用	12,275	11,695	580
売上原価	10,713	10,310	402
販売費及び一般管理費	1,562	1,385	177
営業利益	1,203	809	394
営業外損益の部			
営業外収益	176	164	12
受取利息	10	11	△ 1
受取配当金	76	76	△ 0
事業保険差益	24	—	24
その他の収益	65	76	△ 11
営業外費用	223	221	1
支払利息	213	221	△ 7
その他の費用	10	0	9
経常利益	1,156	751	405
<b>(特別損益の部)</b>			
特別利益	115	133	△ 17
投資有価証券売却益	27	127	△ 99
固定資産売却益	18	4	13
貸倒引当金戻入額	0	1	△ 1
工事負担金	70	—	70
特別損失	5,100	239	4,861
●固定資産除却損	952	227	725
固定資産売却損	14	—	14
投資有価証券売却損	21	6	15
投資有価証券評価損	1	—	1
災害損失	91	5	85
減損損失	4,019	—	4,019
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△3,828	646	△4,474
法人税、住民税及び事業税	28	41	△ 12
法人税等調整額	320	224	95
当期純利益又は 当期純損失(△)	△4,176	380	△4,556

POINT解説●主な増加要因は、8月末に営業を終了いたしました宿泊施設「よみうりランド会館」の除却損の計上であります。

## 連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
<b>(資本剰余金の部)</b>		
資本剰余金期首残高	4,730	4,730
資本剰余金増加高	0	0
自己株式処分差益	0	0
資本剰余金期末残高	4,730	4,730
<b>(利益剰余金の部)</b>		
利益剰余金期首残高	7,779	7,834
利益剰余金増加高	—	380
当期純利益	—	380
利益剰余金減少高	4,404	435
配当金	204	408
役員賞与	24	27
(うち監査役賞与)	(2)	(2)
当期純損失	4,176	—
利益剰余金期末残高	3,374	7,779

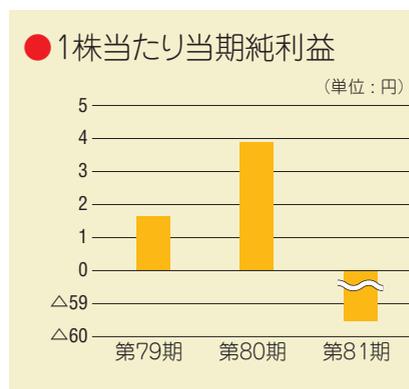
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
●営業活動によるキャッシュ・フロー	7,639	△ 26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,945	△ 875
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,076	1,690
現金及び現金同等物の増減額	1,617	787
現金及び現金同等物の期首残高	5,845	5,058
現金及び現金同等物の期末残高	7,463	5,845

POINT解説●主な増加要因は、売上債権及び立替金の回収、未払金の増加等であります。

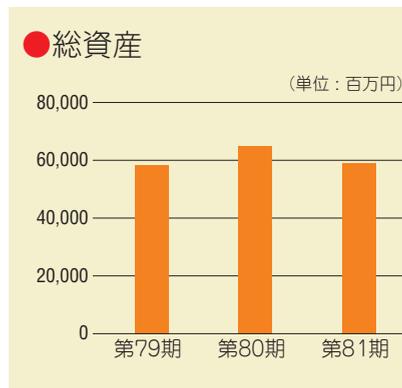
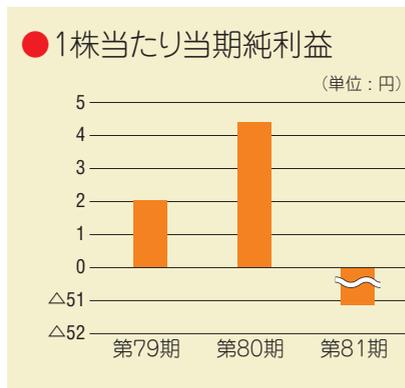
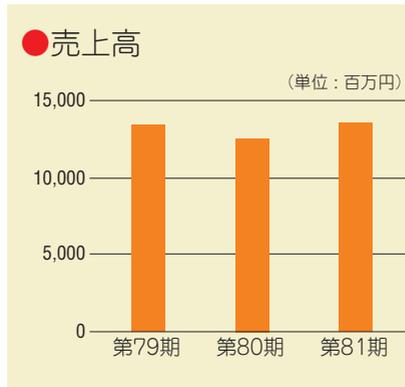
## 業績ハイライト[個別]



11

科 目	第79期	第80期	第81期
売上高 (百万円)	12,548	11,633	12,795
経常利益 (百万円)	942	688	1,031
当期純利益又は当期純損失(△) (百万円)	161	339	△4,866
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△) (円)	1.62	3.86	△59.54
総資産 (百万円)	61,590	67,424	61,086
株主資本 (百万円)	22,035	24,600	19,076

## 業績ハイライト[連結]



科 目	第79期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	第80期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	第81期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
売上高 (百万円)	13,393	12,504	13,479
経常利益 (百万円)	989	751	1,156
当期純利益又は当期純損失(△) (百万円)	191	380	△4,176
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△) (円)	1.99	4.36	△51.11
総資産 (百万円)	58,392	64,450	58,747
株主資本 (百万円)	18,763	21,372	16,538

## トピックス

01

### 豊かな最晩年を創造する ～よみうりランド慶友病院～（賃貸）

当社敷地内に平成17年4月1日、老人介護専門病院「よみうりランド慶友病院」が開院されました。同病院を運営する医療法人社団慶友会は、東京都青梅市にも昭和55年より同種の病院を開院しており、新しい“医療”“介護”“生活・文化”の仕組みを創り、高齢者の日々の質の向上に奉仕することを目標とし、自分の親、そして自分を安心して預けられる施設を目指しております。よみうりランド慶友病院の病棟は240床で運営され、最上階の6階には展望ラウンジを配置し、患者様とご家族様がゆっくりくつろげる空間を構成しております。

電話番号 044-969-3222



13

02

### よみうりランドの新しい顔 ～ファミリーマート2店舗オープン～ （直営）



平成16年7月20日、23日と相次いで「ファミリーマートよみうりランド前店」、「ファミリーマート川崎砂子店」がオープンしました。「よみうりランド前店」では夏期にご来店のお客様におしぼりの配布を実施するなど、遊園地前の店舗らしいサービスを実施しております。「川崎砂子店」は川崎市役所庁舎近くにあり、周辺オフィスには欠かせない存在となっております。

03

### のびのびと、共に創ろう花ある暮らし ～よみうりランド花ハウス～（賃貸）

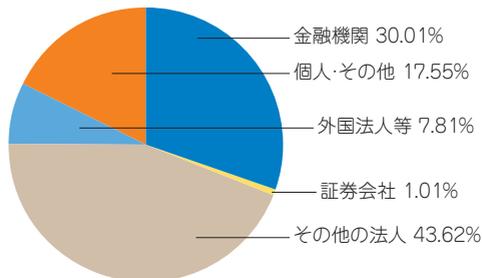


平成17年3月1日、よみうりランド遊園地隣接地に特別養護老人ホーム「よみうりランド花ハウス」が開所されました。同ホームは「個人の自由尊重、尊厳の確立、地域に開かれた施設運営」を理念に、全室個室で10人の方々を1グループとして、グループごとの生活支援をしております。入居者一人ひとりが自由で、安心して暮らせる支援と家庭的な共同生活の楽しさを大切にするだけでなく、地域社会と積極的に協力し、豊かな高齢社会の創造に寄与しております。

電話番号 044-969-3111  
<http://www.hanahouse.jp/>

## 株式の状況 (平成17年3月31日現在)

- 会社が発行する株式総数 ……………294,196,000株
- 発行済株式総数 ……………83,522,024株
- 当期末株主数 ……………5,577名
- 所有者別株主比率



## ● 大株主

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数 (千株)	議決権比率 (%)	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社読売新聞グループ本社	9,562	11.79	—	—
日本テレビ放送網株式会社	9,442	11.64	523	2.06
株式会社東京ドーム	5,821	7.18	443	0.23
中央三井信託銀行株式会社	4,053	5.00	—	—
株式会社あおぞら銀行	3,791	4.68	—	—
大成建設株式会社	2,852	3.52	—	—
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	2,684	3.31	—	—
第一生命保険相互会社	2,668	3.29	—	—
株式会社読売巨人軍	2,014	2.48	—	—
京王電鉄株式会社	1,700	2.10	—	—

## 会社の概況

- 会社の概要 (平成17年3月31日現在)
  - 商号 株式会社よみうりランド (英文: YOMIURI LAND CO., LTD.)
  - 本店所在地 東京都稲城市矢野口4015番地1
  - 設立 昭和24年9月24日
  - 資本金 6,053,030,806円
  - 企業集団の主要な事業内容
    - 総合レジャー事業
    - 賃貸部門 競馬及びオートレースの競技場の賃貸
    - ゴルフ部門 ゴルフ場の経営
    - 遊園地部門 遊園地、ゴルフ練習場、温浴施設等の経営
    - 販売部門 食堂、売店の経営
    - 不動産事業 不動産の売買、賃貸
    - 建設事業 建設業

## ● 当社の従業員の状況 (平成17年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
177名	△3名	42歳3ヵ月	15年9ヵ月

## ● 役員 (平成17年6月24日現在)

代表取締役会長	中 保 章
代表取締役社長	小 谷 直 道
専務取締役	伊津野 臣 介
常務取締役	牧 田 清 喜
常務取締役	増 山 光 夫
取締役	志 摩 三 男
取締役	片 岡 俊 治
取締役	番 井 晃 樹
取締役	田 中 敏 樹
取締役	正 力 亨 一
取締役	桑 山 健 一
取締役	渡 邊 恒 雄
取締役	氏 家 齊 一郎
監査役(常勤)	西 野 夫 久
監査役	濱 邦 昭
監査役	平 野 宏 正
監査役	細 川 知 正

## 株主メモ

## Shareholders' Information

- 決算期 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金 利益配当金は毎年3月31日現在の株主にお支払いします。中間配当金を支払う場合は、毎年9月30日現在の株主にお支払いします。
- 基準日 毎年3月31日  
定款の規定により名義書換停止は行わないことになっています。
- 名義書換代理人 みずほ信託銀行株式会社  
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
- 同事務取扱所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- 同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社本店及び全国各支店
- お問合せ先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話番号 0120-288-324
- 公告の方法 電子公告により行います。なお、以下のホームページアドレスにてご覧いただけます。  
<http://www.yomiuriland.co.jp/ir/index.html>  
ただし、電子公告によることができない事故その他やむをえない事由が生じたときは、東京都において発行する読売新聞に掲載して行います。
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 株主招待券権利確定日 3月31日、9月30日

## 株式会社 よみうりランド

この事業報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

- 総務部 電話 044-966-1131
- ホームページ <http://www.yomiuriland.co.jp/>